

決 算 公 告

平成 30 年 6 月 28 日

各 位

大阪市浪速区湊町一丁目 2 番 3 号
株式会社アプラス
代表取締役社長 渡部 晃

第 9 期(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)
貸借対照表、損益計算書及び個別注記表

貸借対照表 1 ページ
損益計算書 2 ページ
個別注記表(抄) 3~5 ページ

以 上

貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	1,057,063	流動負債	852,148
現金及び預金	95,136	支払手形	306
割賦売掛金	537,336	買掛金	15,159
信用保証割賦売掛金	314,407	信用保証買掛金	314,407
リース投資資産	6,426	短期社債	142,700
前払費用	234	短期借入金	101,800
繰延税金資産	5,950	1年以内返済予定の 長期借入金	43,663
金銭の信託	95,305	リース債務	1,043
その他	31,301	未払金	7,178
貸倒引当金	△ 29,036	未払費用	410
固定資産	28,942	未払法人税等	817
有形固定資産	5,479	預り金	96,452
建物	1,287	債権流動化預り金	100,000
構築物	3	賞与引当金	1,405
工具、器具及び備品	1,344	前受収益	8
土地	2,843	割賦利益繰延	26,776
無形固定資産	17,532	その他	17
ソフトウェア	17,532	固定負債	168,688
その他	0	長期借入金	69,054
投資その他の資産	5,930	長期債権流動化債務	87,987
投資有価証券	160	リース債務	5,383
関係会社株式	10	繰延税金負債	1,039
長期貸付金	2	退職給付引当金	658
長期前払費用	167	利息返還損失引当金	4,106
前払年金費用	4,243	その他	460
その他	1,346	負債合計	1,020,837
		純 資 産 の 部	
		株主資本	65,168
		資本金	15,000
		資本剰余金	38,995
		資本準備金	3,750
		その他資本剰余金	35,245
		利益剰余金	11,172
		その他利益剰余金	11,172
		繰越利益剰余金	11,172
		純資産合計	65,168
資産合計	1,086,005	負債・純資産合計	1,086,005

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自 平成29年4月 1日)
(至 平成30年3月31日)

科 目	金 額	百 万 円	百 万 円
営 業 収 益		百万円	百万円
包括信用購入あっせん収益	18,457		
個別信用購入あっせん収益	7,932		
信 用 保 証 収 益	16,363		
融 資 収 益	11,213		
金 融 収 益	1,321		
(受 取 配 当 金)	(1,321)		
(そ の 他)	(0)		
そ の 他 の 営 業 収 益	11,490		66,780
営 業 費 用			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	60,904		
金 融 費 用	2,352		
(支 払 利 息)	(1,919)		
(そ の 他)	(432)		63,256
営 業 利 益			3,523
営 業 外 収 益			
固 定 資 産 売 却 益	33		
受 取 精 算 金	22		
雑 収 入	51		108
営 業 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	12		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6		
雑 損 失	11		30
経 常 利 益			3,600
特 別 利 益			
関 係 会 社 株 式 売 却 益	550		550
税 引 前 当 期 純 利 益			4,150
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	△ 350		
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,090		△ 1,441
当 期 純 利 益			5,592

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

有 価 証 券

① 子 会 社 株 式 …… 移動平均法による原価法を採用しております。

② そ の 他 有 価 証 券
時価のないもの …… 移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有 形 固 定 資 産

主として、定率法を採用しております。

ただし、東京研修会館の建物および構築物、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）ならびに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

(2) 無 形 固 定 資 産

自社利用ソフトウェアは、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸 倒 引 当 金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の内容を検査し、必要額を計上しております。

なお、破綻先および実質破綻先に対する債権については、債権額から回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は40,851百万円であります。

(2) 賞 与 引 当 金

従業員に対する賞与支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金および前払年金費用

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12年）による定額法により処理しております。

(4) 利息返還損失引当金

将来の利息返還の請求に伴う損失に備えるため、過去の返還実績等を勘案した必要額を計上しております。

4. 収益の計上基準

営業収益の計上は、期日到来基準とし、次の方法によっております。

(1) アドオン方式契約

包括信用購入あっせん …… 7・8分法により計上する方法

個別信用購入あっせん …… 7・8分法により計上する方法

信 用 保 証 …… 7・8分法により計上する方法

(保証料契約時一括受領)

信 用 保 証 …… 定額法により計上する方法

(保証料分割受領)

(2) 残債方式契約

包括信用購入あっせん …… 残債方式により計上する方法

個別信用購入あっせん …… 残債方式により計上する方法

信 用 保 証 …… 残債方式により計上する方法

(保証料分割受領)

融 資 …… 残債方式により計上する方法

(注) 計上方法の内容は次のとおりであります。

1. 上記営業収益の計上方法は、代行手数料収入、利用者手数料収入、貸付利息収入、保証料収入、売上割戻しを対象としております。
2. 7・8分法とは、手数料総額を分割回数の積数で按分し、各返済期日の到来のつど積数按分額を収益計上する方法であります。
3. 残債方式とは、元本残高に対して一定率の料率で手数料を算出し、各返済期日のつど算出額を収益計上する方法であります。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

また、固定資産に係る控除対象外消費税等は、「投資その他の資産」の「その他」に計上し、5年間で均等償却を行っております。

(表示方法の変更に関する注記)

長期債権流動化債務の表示方法は、従来、貸借対照表上、「固定負債」の「その他」(前事業年度 31,922 百万円)に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当事業年度より、「固定負債」の「長期債権流動化債務」として表示しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 担保資産および担保付債務

担保に供している資産

現金及び預金 60 百万円
割賦売掛金 87,987

担保付債務

長期債権流動化債務 87,987 百万円

2. 金銭の信託は、主として信用保証業務の一環として設定しているものであります。

3. 有形固定資産の減価償却累計額 7,239 百万円

4. 偶発債務

保証債務残高のうち債権、債務とみなされない残高 1,766 百万円
従業員借入金保証残高 7

5. 関係会社に対する金銭債権・債務

金銭債権 61,818 百万円
金銭債務 55,634

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引高

営業収益 111 百万円
営業費用 999

上記の他、「関連当事者との取引に関する注記」に記載の取引があります。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産および繰延税金負債の発生 の 主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

貸倒引当金および貸倒損失	21,399	百万円
繰越欠損金	12,073	
その他の	3,603	
小計	37,076	
評価性引当額	△31,126	
合計	5,950	

(繰延税金負債)

前払年金費用	991
資産除去費用	48
合計	1,039

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社および法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱新生銀行	間接 100.0%	預金の預入 資金の借入	資金の借入	百万円 855,000	短期借入金	百万円 50,000
				資金の返済	825,000		
				信託受益権の売却	100,000		
				関係会社株式の売却	1,050	—	—
				関係会社株式売却益	550		
	㈱アプラス フィナンシャル	直接 100.0%	資金の借入 役員の兼任 業務受託	資金の借入	261,900	—	—
				資金の返済	261,900		

取引条件および取引条件の決定方針等

- (1) 資金の借入については、市場金利を勘案して交渉の上、決定しております。なお、担保は提供していません。
 - (2) 信託受益権の売却については、市中相場を勘案して交渉の上、決定しております。
 - (3) 関係会社株式の売却については、当社の算定した対価に基づき交渉の上、決定しております。
2. 子会社および関連会社等
該当事項はありません。
 3. 兄弟会社等
該当事項はありません。
 4. 役員および個人主要株主等
該当事項はありません。

(1株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額	32,584 百万円
1株当たり当期純利益	2,796 百万円